

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	京都府 長岡京市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	地域の文化遺産を核としたコミュニティの再生・活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>長岡京市は、京都・大阪の二大都市を結ぶ軸の中心に位置し、北は向日市と京都市、東は京都市、南は大山崎町、西は大阪府と接しています。古くは784年に市の名前の由来となった「長岡京」として栄え、現在は豊かな自然や歴史資源と先端産業が共存するまちとして知られています。現在、市外からの来訪者は「長岡天満宮」、「光明寺」、「柳谷観音楊谷寺」への参拝やイベント等に集中しており、「花の社寺巡り」が好きな50歳以上の来訪に支えられているのが現状です。しかし、これら世代の観光ニーズは今後、減少していくことが予測されるため、新たな層を呼び込む視点が重要となります。平成29年度3月に策定した「新・長岡京市観光戦略プラン（観光プラン）」では、このような本市の歴史資源について新たな楽しみ方を創出することを重視し、市民や鉄道沿線住民を今後訴求すべきターゲット層の一つとして設定し、“普段づかいの観光”を推進していきます。</p> <p>本計画では、今後市が進める観光プランの取組みを補完し相乗効果を図りながら、現在は顕在化していない歴史資源や情報を発掘し、工夫を凝らした情報発信に取り組み、次世代への歴史文化資源継承に重要な役割を担い、観光プランのターゲット層でもある市民や鉄道沿線住民をはじめ多様な人々の関心を引き付けることで、多くの人が歴史資源の魅力や価値についての理解を深め、貴重な歴史資源の次世代への継承につなげていくことを目的としています。</p> <p>具体的には、文化遺産にまつわる地域に根付いた逸話等を整理し、訴求すべきターゲット層の視点で地域の文化遺産を紹介するコンテンツを新しく創出し、情報発信を行います。また、事業全般を通じて、長岡京市の豊富な歴史資源の価値や魅力を次世代に伝承していく環境づくり・人づくりの観点を重視し、多様な人材とのネットワーク構築や文化遺産継承の担い手育成を推進します。</p> <p>あわせて2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた全国的な観光振興の動き、文化プログラムも予定されており世界に向けたPRのまたとない機会であることから、情報発信媒体は多言語化し、文化遺産の価値を外国人を含めた次世代へ継承していきます。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行います。</p> <p>長岡京市環境経済部商工観光課：補助事業に関する指導・調整等 長岡京市教育部生涯学習課生涯学習・文化財係：文化財等に関する指導助言</p> <p>【補助事業団体】 長岡京市で観光まちづくり活動など地域で活動する各種団体、市民の有志で構成する組織「長岡京市地域文化継承協議会」を平成29年2月に設立。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 千円	平成29年度申請額： 1,986 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>事業全般を通じて、本市の観光プランの目標指標のひとつに掲げる新たな商品・サービスづくりに取り組むプレイヤー発掘にもつながる事業であると同時に、これまで歴史文化に関心が低かった新たな層（若年者層）への文化遺産の価値の普及啓発が期待できます。</p> <p>本取組を進める過程においても、新たな層を含む多様な人材の参画を得ることで、長岡京市の歴史文化に関心を持つ地域人材の増加が見込めます。</p> <p>また、長岡京市の豊富な歴史資源の価値や魅力を情報発信していくための環境づくりにつながることを期待でき、あわせて、多国語対応の情報発信媒体を整備することで、本市を訪れる外国人に文化遺産の確かな伝承を図ることができます。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	長岡京市 環境経済部 商工観光課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く） （具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	取組みに係る寺社仏閣、市内事業者等の数			関連事業:	事業①	
目標値 1 :	平成 28 年度	0 件	⇒	平成 29 年度	5件 件	
設定根拠 1 :	新観光戦略プランの目標指標の一つに 飲食・物販店との連携を推進する地域資源の発掘と観光ルートづくり、市民と事業者（店舗や生産者、製造業者等）との交流による体験プログラムの創造としているため、それら事業に係る事業者数を目標値として設定。毎年5件以上の新規事業者の文化遺産継承活動参画を目標とする。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	件	件	件	件	件	件

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	新たな切り口による文化遺産等の情報発信強化事業	実施団体：	長岡京市地域文化継承協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 29 年度	
事業概要：	①現在は顕在化していない歴史資源や情報を発掘、体験などの新たな楽しみ方の創造・実践の場づくり ②①で創造した取組み（歴史学習プログラムや観光ルート等）について、様々に工夫を凝らした情報発信					
評価指標区分：	・ SNS 上の情報発信の「いいね」の数				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	専用FacebookページをH29年度より設置。H28年度：「いいね」0件。H29年度：「いいね」250件、H30年度以降毎年1.2倍を目標					
目標値：	平成 28 年度	0 件	⇒	平成 29 年度	250 件	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
件	件	件	件	件	件	